



災害時の避難について



1 市が指定の避難場所への避難
(例:小中学校や町内会館などの公共施設)

2 安全な親戚・知人宅への避難

普段から災害時に避難する事を相談しておきましょう。(避難先が市内の場合、赤平市防災マップで安全かどうかを確認しましょう)

毎年、全国各地で災害が発生していますが、避難をする時は何をすればよいのか、と考える方も多いのではないのでしょうか？

災害が起きたら、小中学校や町内会館などに行く事だけが、避難ではありません。

「避難」とは「難」を「避」けることで、下記の3つの行動に分けられます。

3 屋内安全確保(自宅での避難)

次の3つを赤平市防災マップで確認し、自宅にいても大丈夫か確認しましょう。

- ▷各種警戒区域(急傾斜地・土石流など)に入っていないか→防災マップを見て、自宅の場所や周辺が白色の区域ですか？
- ▷浸水想定深より居室は高い位置ですか？
- ▷水が引くまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分ですか？

※避難情報に関する詳細は内閣府ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年5月)」をご覧ください

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

ホームページは
こちらから



避難が必要となった時は、防災行政無線でお知らせします。

赤平市防災行政無線試験放送

右記の日程で、全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達試験を行ないます。

当日は、国からの試験放送を赤平市防災行政無線を使用して実施します。
ご理解のほどお願いします。

【放送内容】

「これは、Jアラートのテストです」という音声放送が3回流れます。

※当日の天候や、国際情勢などにより、中止となる場合があります。また、臨時試験放送を実施する場合があります。

	実施日	時間
第1回	6月7日(水)	11時00分
第2回	8月23日(水)	11時00分
第3回	11月15日(水)	11時00分
第4回	令和6年 2月9日(金)	11時00分

「ミニデイサービスかえで」参加者募集！

「最近、外出するのがおっくうになってきた」、「体を動かしたり、みんなとお話したりしたいけど行くところがない」そんな方は、「ミニデイサービスかえで」にご参加ください！

運動やレクリエーション、季節の行事などを通じて、仲間と楽しく交流できる短時間型のデイサービスです。

「からだ」と「あたま」を同時に動かすトレーニングを行ない、体力や認知機能を高めます。



対象者

①65歳以上の事業対象者

「基本チェックリスト」による判定で、要介護・要支援となるリスクが高いと判定された方。

※地域包括支援センター職員が、ご本人と面談し判定します。

②介護保険「要支援1」または「要支援2」に認定されている方

※ただし、他の通所系サービスを利用している方は対象となりません。

開催日 月曜日、火曜日、金曜日のいずれか
週1回程度

会場 ふれあいホール1階

時間 9時～12時

料金 1回300円

内容 健康チェック、ラジオ体操、軽運動、レクリエーション、体力・認知力測定など

※自宅から会場まで送迎があります。

※体験利用も可能です。ご希望の方は、下記までお申し込みください。

申込み・問合せ 地域包括支援センター
☎32-0661

『認知症と共生する地域づくりをめざして』

<No. 2>

認知症をオープンにできる社会へ

「自分や家族が認知症と診断された」と周りに伝えることは、とても勇気がいることです。

しかし、認知症の人が住み慣れた地域の人とつながりを持ち続けるためには、病気をオープンにすることが必要です。

いきなり近所の人たちにオープンにするのではなく、「この人なら言える」と思えるような信頼できる人にお話ししてみましよう。一人また一人と、認知症のことを理解してくれる人が増えて「地域で見守る力」が大きくなり、介護している家族の負担も和らぎます。